	海を渡った若者たち
【関連年表】	薩摩藩英国留学生
島津斉彬がフランスへ留学生派遣一八五七年	
で中止となる。	時は江戸時代、一八六五年(元治二年)三月、薩摩の
生麦事件	若き武士達が、羽島(現在のいちき串木野市羽島)の港
一八六三年	から海を見つめていました。
- 八六四月 薩英戦争	欧米の進んだ文明を学ぶためにイギリスへ渡る留学生
薩摩藩開成所設立。	として、 薩摩藩開成所から選ばれた若者達です。しか
薩摩藩英国留学生派遣。一八六五年	し、この時の日本は鎖国の時代、幕府は、各藩が外国へ
	留学生を送ることを認めていませんでした。幕府の許可
	を得ない今回の留学は、鎖国を破る重罪となり、彼らは
	幕府の追 及をごまかすために全員が名前を変え、イギ
	リスに向かうのです。見つかれば死罪。留学生達にとっ
	て、命をかけた大きな決断でした。



授業などが行われた。 理・数学・測量・造船などを学ぶ 語のほか、砲術・兵法・天文・地 藩も一八六四年(元治元年)に開 学問を学んだ学校。一年前に開校 成所を開設した。

英語・オランダ された幕府の開成所に続き、薩摩 【薩摩藩開成所】 薩摩藩の若い武士達が、西洋の

						一八〇リットル。	年間で食べるおよその米の量で、約体積を表す単位。一石は、人が一	【石】	江戸時代に米で支払われた給料。【扶持米】		になってきている今の気持ちだ。最近は更に(出航が)とても楽しみのものが春の様子になった羽島で、(春になり)花だけでなくすべて【歌の意味】			
一方、複雑な思いで海を眺めている者もいました。彼	た。	の象(徴である髷を落として、出航の時を待っていまし)しょうちょう	代になる。」そう信じた彼は、羽島についてすぐ、武士	からは刀で勝負をする時代ではない。学問で勝負する時	の薩摩藩や日本で活躍する大きなチャンスです。「 これ	今回の留学は、学んだ英語を実践する機会であり、今後	学に大きな希望を持って参加していました。 彼にとって	洋学を学ぶことで身を立てようと考えており、今回の留	扶持米わずか五 石余りという下級武士だった彼は、	更にゆかしき 今日にもあるかな	花ならぬ 影も匂ひて 羽島浦	出航に際し、次の歌を詠んでいます。	留学生の一人、市来勘 十 郎 (変名は松村淳 蔵)は、	

	年ほどで帰国している。	り mを million 一回した ロッパの会社との交渉を	場の開設、電信の設置などについ	が、鉱山の開発、鉄道の敷設、工	結果的には契約に至らなかった	との面談を行っている。	な国で、工場・鉱山の見学や要人	役であり、友厚は、航路上の様々	の買い付け、貿易商社設立の交渉	それは、		だけではなく、藩からの任務も与	五代友厚は、留学生達のまとめ役	既に上海への渡航経験があった	五代友厚	【代表的薩摩藩英国留学生 】	
--	-------------	----------------------------------	-----------------	-----------------	----------------	-------------	-----------------	-----------------	-----------------	------	--	-----------------	-----------------	----------------	------	----------------	--



江戸末期に広がった、外国人を排【攘夷思想と夷狄】(いちき串木野市)		【副山夷花の次母】 「副山夷花の次母】
-----------------------------------	--	------------------------

だが、夷狄から学ぶなど、武士としてあるまじき行動で
「進んだ文明を学ぶことが必要だということは分かる。
きず、この留学に参加していました。
彼は悩みます。しかし、 藩主の命令に背くことはで
イギリスに行かねばならないのか。」
「なぜ自分は、夷狄の国に出かけるのか。なぜ自分が、
えたのです。
武士として、「 夷狄の国へ行くことはできない。」と考
を捨ててはいませんでした。彼は最初、留学を断ります。
武士の誇りを重んじ、洋学を学びながらも、 攘夷思想
彼は、島津家の上級家臣である畠山家の一人として、
けふのわかれを いかて忍ひん
君か為 忍ふ船路と しりながら
彼も出航に際し、次の歌を詠んでいます。

病死する。 病死する。 病死する。 病死する。	【代表的薩摩藩英国留学生】 【代表的薩摩藩英国留学生】 【代表的薩摩藩英国留学生】 【代表的薩摩藩英国留学生】 【代表的薩摩藩英国留学生】
----------------------------------	---

がモデルとなっている。 の群像」は、薩摩藩出身の留学生達 【薩摩藩留学生の銅像】 鹿児島中央駅前の銅像「若き薩摩







それに対し、畠山は主張します。	「日本を出れば、既に外国だ。当然、外国の決まりに従	松村淳蔵は言います。	い、留学生たちは激論を交わします。	です。畠山義成をはじめ何人かが刀を渡すことをためら	長が「全員が刀を預けないと出航しない。」と告げたの	しかし、船に乗り込んですぐに問題が起こります。船	に到着しました。	やがて、長崎の商人・グラバーが手配した船が、羽島		した。	つからないまま、今日の出航の時を迎えようとしていま	何度も何度も自問自答しますが、満足のいく答えは見	はないか。」
		日本を出れば、既に外国だ。当然、	日本を出れば、既に外国だ。当然、松村淳蔵は言います。	ロ本を出れば、既に外国だ。当然、松村淳蔵は言います。留学生たちは激論を交わします。	本を出れば、既に外国だ。当然、 門淳蔵は言います。 留学生たちは激論を交わします。 畠山義成をはじめ何人かが刀を	本を出れば、既に外国だ。当然、村淳蔵は言います。。畠山義成をはじめ何人かが刀を「全員が刀を預けないと出航しか	本を出れば、既に外国だ。当然、外国の決まりに。。畠山義成をはじめ何人かが刀を渡すことをため「全員が刀を預けないと出航しない。」と告げたかし、船に乗り込んですぐに問題が起こります。	本を出れば、既に外国だ。当然、外国の決まりに「全員が刀を預けないと出航しない。」と告げた「全員が刀を預けないと出航しない。」と告げたお意識を交わします。新し、船に乗り込んですぐに問題が起こります。着しました。	本を出れば、既に外国だ。当然、外国の決まりかし、船に乗り込んですぐに問題が起こります。「全員が刀を預けないと出航しない。」と告げ「全員が刀を預けないと出航しない。」と告げがて、長崎の商人・グラバーが手配した船が、がて、長崎の商人・グラバーが手配した船が、	本を出れば、既に外国だ。当然、外国の決まりかし、船に乗り込んですぐに問題が起こります。「全員が刀を預けないと出航しない。」と告げ「全員が刀を預けないと出航しない。」と告げがて、長崎の商人・グラバーが手配した船が、がて、長崎の商人・グラバーが手配した船が、	。 。 高山義成をはじめ何人かが刀を渡すことをた 。 富山義成をはじめ何人かが刀を渡すことをた 。 富山義成をはじめ何人かが刀を渡すことをた の 前に乗り込んですぐに問題が起こります がて、長崎の商人・グラバーが手配した船が、 。	。 。 がて、長崎の商人・グラバーが手配した船が、 がて、長崎の商人・グラバーが手配した船が、 っ 全員が刀を預けないと出航しない。」と告げ 「全員が刀を預けないと出航しない。」と告げ 「全員が刀を預けないと出航しない。」と告げ 「全員が刀を預けないと出航しない。」と告げ 「 をしました。	を B も 何度も 自問 自答しますが、 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。



上海で活躍し、開港二年後の長崎

スコットランド出身の貿易商。

【トーマス・グラバー】

ర్శ

学生の支援を行っている。

「「「「」」「「」」 「ロンドン到着 (6月21日)] 日付はすべて新暦。 サザンプトン (6月21日)] (27 3 h & h (6/16H) अक्रिसक (4月17日) Tru クサンドリア (6)[16日)] DER 夕 (6月12日) スエズ (6月8日) . 赤ンベイ (6月8日) 香港 (4月21日) 20 (5718日) / ベナン アデン (5月31日) [ゴール (5月15日)] 元 (5月5日) 5 , -1

すべて日本にないものばかりです。きな建物、次々と到着し、出航していく多くの黒船など、
灯、整然と整備されたレンガ敷きの道、公園、洋風の大
を見張ります。夜の街を昼間のように照らす無数のガス
最初の目的地は香港。その香港に到着した一行は、目
い航海の始まりです。
地中海を経由してイギリスを目指す、二か月もの長い長
日本を離れ、香港・シンガポール・インド・エジプト・
全員が刀を預けることに同意しました。
が我々の任務である。」という結論に達した留学生達は、
主君の命である。その命に従い、イギリスに向かうこと
長い時間話し合った結果、「留学を成し遂げることが
すわけにはいかない。」
「我らは武士である。よって、武士の魂である刀を手放

人材の育成に努めた。	ど、日本が近代国家となるための	(現在の一橋大学)を設立するな	また、私財を投じて商法講習所	布して、学校制度の改革を行った。	初代文部大臣となり、学校令を公	イギリス公使を五年間務めた後、	アメリカに渡る。	制度や社会制度を学ぶために再び	帰国後、明治政府の下で、教育	とアメリカで学ぶ。	留学生の一員として、イギリス	森有礼	【代表的薩摩藩英国留学生 】
------------	-----------------	-----------------	----------------	------------------	-----------------	-----------------	----------	-----------------	----------------	-----------	----------------	-----	----------------

【薩摩藩の命運をかけた留学】 羽島からサザンプトン(イギリス) までの航海には、今の金額で、一人 あたり約二千七百万円が投じられて おり、費用の面でも薩摩藩の命運を かけた留学であった。 松村淳蔵は「味があるのは 橙 と とができなかったようだ。 とができなかったようだ。 とができなかったようだ。 とができなかったようだ。 とができなかったようだ。 とができなかったようだ。 とができなかったようだ。	「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「
	決意を新たに勉強に励
	留学生達は毎日二時間以上、
	学びました。先生は通訳の堀孝之、同行するグラバー
	会の英国人ホーム、そして船の乗組員達です。 時には何
	時間も勉強することもあり、外国人乗客にも積極的に話
	しかけ、様々な情報を手に入れていきました。
	香港、シンガポールと航海は進み、ボンベイ(現在の

ドも見学している。 砂漠地帯ではラクダを細かく観の体験をした。 察したり、エジプトではピラミッ 【留学生、ピラミッドを見る】 航海中の各地で、留学生は多く



114

【長州藩の留学生】 「同じ頃、長州藩の留学生】 ち既に二人は帰国していた。五人の留学生同士は盛んに交流を行っていた。 を学んでいたが、三人の留学生のう。												が書かれていた。		香港やシンガポールをはじめ、留【植民地支配の現実】
時に、到着先のレストランに何時頃何人到着と連絡する	しています。電信機も体験しました。「列車に乗り込む	ました。松村は「その速きこと疾風の如し」と日記に残	アレクサンドリアまでの陸路の移動では、鉄道も体験し	建設工事中のスエズ運河も見学し、更に、スエズから	を痛感したのです。	脅威と、その欧米と並ぶだけの実力を日本が持つ必要性	留学生達は、これから強まっていくであろう欧米の	らの植民地と同じ運命になってしまう。」	「このまま日本が欧米文明に遅れ続けると、日本もこれ	あまりにも貧しい暮らしとの違いでした。	それに対して、植民地として支配された現地の人々の、	留学生達に衝撃を与えたのは、欧米人の優雅な暮らしと、	彼らは欧米文化の発展を目の当たりにしますが、何より	インドのムンバイ)に留学生達は到着します。ここでも

農場をカリフォルニアに移すと、その後、実質的な代表者となり、	官に参加した	し メ 、リ 他 カ	になり学費に困った長沢治維新後、藩からの送金	し、地元の中学校で学んでいる。	- の実家で	スコット	長沢 鼎
<u>れた。</u> どに力を入れ、「ぶどう王」と呼ば 農場の拡大やワイン工場の開設な	っ。 場の拡大やワイン工場の 場をカリフォルニアに移 その後、実質的な代表者と	た。 いの で の が 大 や ワ イ ン 工 場 の が 大 や ワ イ ン 工 場 の 拡 大 や ワ イ ン 工 場 の 拡 大 や ワ イ ン 工 場 の 協 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	、アメリカの農場での集 、アメリカの農場での集 、アメリカの農場での集	に力を入れ、「ぶどう王」 場の拡大やワイン工場の る加し、他の留学生が離 、アメリカの農場での集 をカリフォルニアに移 その後、実質的な代表者と に力を入れ、「ぶどう王」 に力を入れ、「ぶどう王」 に力を入れ、「ぶどう王」 に力を入れ、「ぶどう王」	。 か か の 拡大や ワ イン 工場の で の 後、 実質的 な 代表 者 し 、 他 の 留 学 生 が 島 に な り 学 費 に 困 っ た 。 に な り 学 費 に 困 っ た 。 に あ か ら の 炭 、 に あ の に 長 沢 は 一 人 集 団 農 場 で の 鹿 場 で の 鹿 場 で の 鹿 場 で の 鹿 場 で の 鹿 場 し 、 に あ っ た 。 の た 。 で の 鹿 場 し 、 に あ の の 鹿 場 で の 鹿 馬 号 に あ っ た の た 。 の た の た の た の た の た の た の た の た の の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た の た ら の た ら の た の の た ら の の た の の た の の た の の た の の た の の た の の の た の た の の た の の た の た の た の の の た ろ の の た ろ の の で の た の た ろ の の で の た ろ ん で で の た う た ろ の の た ろ ん で の た う ん で の た う た ろ ん で で う ん で つ た う ろ た ろ た ろ た う ろ の た う た ろ の の た う た ろ の の た う た ろ の の た ろ つ た ろ た う た ろ の つ た ろ で の の た ろ で の た ろ の た ろ で の た ろ で の た ろ ろ の の た ろ の た ろ ろ て の た ろ た ろ ろ ろ の た ろ て の た ろ ろ ろ ろ の て の た ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ	。 か の 拡大や ワ イン 工場の た で の に な り 学費に 困った で 学校 で 学校 で 学校 で 学校 で 学校 で 学校 で 学校 で 学校 で 学校 で 学ん で の 能 新 後 、 、 、 、 町 し 、 他 の 留 学 生 が ら の 徒 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	[•] カ を カ リ フ オ ル し 、 世 の に な り 学 費 に 困 っ た グ ラ バ ー 人 集 団 に 板 の 中 学 校 で き ず 、 ス コ ッ た の 中 学 校 で で き ず 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、
	農場をカリフォルニアに移すと、その後、実質的な代表者となり、	農場をカリフォルニアに移すと、その後、実質的な代表者となり、経営に参加した。	場をカリフォルニアに移すとその後、実質的な代表者となり営に参加した。 、長沢は一人集団農場に残っ参加し、他の留学生が離れた	たカリフォルニアに移すの後、実質的な代表者とないした。 になり学費に困った長沢は一人集団農場に残加し、他の留学生が離れアメリカの農場での集団になり学費に困った長沢	たカリフォルニアに移すの後、実質的な代表者とないした。 に参加した。 にの保団 にのの にの <p< td=""><td>をのに長加アに治地あったの後、沢し、リリンのにたい。 しんしょう しんしょ しんしょ</td><td>をのに長加アに治地あに学 、カ後沢し、リり新の入当 、リマに後で、 、リンでのの 、して、 、して、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、</td></p<>	をのに長加アに治地あったの後、沢し、リリンのにたい。 しんしょう しんしょ しんしょ	をのに長加アに治地あに学 、カ後沢し、リり新の入当 、リマに後で、 、リンでのの 、して、 、して、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、





靴をあつらえ、英語の勉強の合間に

ロンドン到着後、全員分の洋服・

【慶応年間薩藩々費洋行者写真 】

撮影された。(左から)

【慶応年間薩藩々費洋行者写真】
(鹿児島県立図書館所蔵)
(鹿児島県立図書館所蔵)
(鹿児島県立図書館所蔵)

116

子も紹介されている。	況について質問していた。」	は実際に器用な運転を行い、使用状	複雑な説明も理解していた。農園で	味を持ち、細かなところまで質問し、	の蒸気機関耕運機とその使用法に興	フォードを訪れた。日本人は農業用	農業と工業の知識を得るためベッド	「先週の土曜日、多数の日本人が	ベッドフォー ドタイムス	一八六五年八月一日		の新聞に紹介された。	の鉄工所と農園を訪れた様子が地元	ロンドン滞在中、ベッドフォード	介ドスの がで、 説 ち、 説 明も 理 相 に 招 れた。 で に 器 明 も 理 れた。 に る の し て い た 。 に に お れ た 。 に の れ に に お れ た 。 に の に の れ に に の れ に に の れ に に の れ に に の れ に に の れ に に の れ に に の れ に の れ に の に の れ に の れ に の れ に の に の れ に の に の に の れ に の に の に の に の れ に の に の に の れ に の に の に の に の れ た 。 の に の れ た の に の た の に の に の れ に の に の た の に の た の の に の た の の に の た の の に の た の の の に の た の の し て い た 。 の の し て い た の の の し て い た の の の し て の た の の の し て の た の の の し て の た の の の し て の た の の の し て の た の の の の の の の の の の の の の
		況について質問していた。」	いて質問していた。」に器用な運転を行い、	いて質問していた。」に器用な運転を行い、説明も理解していた。	いて質問していた。」に器用な運転を行い、説明も理解していた。	いて質問していた。」、こので質問していた。」、説明も理解していたで、細かなところまで質機関耕運機とその使用	いて質問していた。」いて質問していた。」やを訪れた。日本人はドを訪れた。日本人は	いて質問していた。」いて質問していた。日本人は、説明も理解していた。そ、細かなところまで既機関耕運機とその使用ドを訪れた。日本人は「美の知識を得るため」	いて質問していた。」いて質問していた。日本人は上業の知識を得るため使用ドを訪れた。日本人は上業の知識を得るため使用ドを訪れた。日本人は上業の知識を得るためし	いて質問していた。」いて質問していた。」に器用な運転を行い、に器用な運転を行い、「「、細かなところまで気機関耕運機とその使用で質問していた。」の土曜日、多数の日フォードタイムス	いて質問していた。」 いて質問な運転を行い、 に器用な運転とその使用 とその使用 していた。 日本人は していた。 日本人は の土曜日、 多数の日 フォードタイムス していた。 日本人は	いて質問していた。」 いて質問な運転していた。 「ころ、細かなところまで領 に器明も理解して、多数の 日本年八月一日 「一日」 「一日」 「一日」 「一日」 「一日」 「一日」 「一日」 「一	いて質問していた。」 に器用な運転していた。 に器用な運転していた。 に器用な運転していた。 に器用な運転していた。 の知識を得るため していた。 にの に に に に に に に に に に に に に に に に に に	いて質問していた。」 に器用な運転していた。 に器明も理解していた。 日本年八月一日 「お明も理解して、多数の日 フォードタイムス の知識を得るため日 の主曜日、名数の日 の主曜していた。 に器用なに、 の知識を得るため の日 の主で、 の知識を の知識を の知識を の知識を の知識を の の主で、 に の の た の に の た の に の た の に の た の に の た の た	ベッドフォー ド市長との夕食の様
ドフォードン滞在中、ベッドフォードン滞在中、ベッドフォードを高和なところまで低くしていた。 「ち、細かなところまで低くしていた。」 「ち、細かなところまで低い、	ロンドン滞在中、ベッドフォード 「先週の土曜日、多数の日本人が 「先週の土曜日、多数の日本人が 「先週の土曜日、多数の日本人が 「先週の土曜日、多数の日本人が 「先週の土曜日、多数の日本人が 「た週の土曜日、の新聞に紹介された。 に興 に興 に し、 で な 、 に の 新聞に紹介された。 日 本 し に 興 志 し 、 に 興 し 、 に 興 し 、 に 興 し 、 に 興 し 、 に 興 し 、 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二	ロンドン滞在中、ベッドフォード 「 先週の土曜日、多数の日本人が 「 先週の土曜日、多数の日本人が 「 先週の土曜日、多数の日本人が 農業と工業の知識を得るためベッド フォードを訪れた。日本人は農業用 の蒸気機関耕運機とその使用法に興 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	ロンドン滞在中、ベッドフォード の新聞に紹介された。 の新聞に紹介された。 「先週の土曜日、多数の日本人が 「先週の土曜日、多数の日本人が 「先週の土曜日、多数の日本人が で、「た週の土曜日、多数の日本人が	の蒸気機関耕運機とその使用法に興の蒸気機関耕運機とその使用法に興て、多数の日本人が「先週の土曜日、多数の日本人が「先週の土曜日、多数の日本人が「た週の土曜日、多数の日本人が	フォードを訪れた。日本人は農業用の鉄工所と農園を訪れた様子が地元の新聞に紹介された。	してしたのでは、「	「先週の土曜日、多数の日本人が の鉄工所と農園を訪れた様子が地元 の新聞に紹介された。	ベッドフォードタイムス の新聞に紹介された。 の新聞に紹介された。	一八六五年八月一日	の新聞に紹介された。の新聞に紹介された。	の新聞に紹介された。ロンドン滞在中、ベッドフォード	の鉄工所と農園を訪れた様子が地元ロンドン滞在中、ベッドフォード	ベッドフォー		【イギリスの新聞】

あつやく 続ける者など、それぞれの道を進み、日本に帰った留学
になります。
一方、松村淳蔵や畠山義成ら六人は、更に学問を続け
るためアメリカに渡りました。松村淳蔵はアメリカの海
軍士官学校に入学して優秀な成績を収め、日本人として
初の卒業生となります。帰国後は日本海軍に所属し、海
軍の充実、特に士官の教育に 携 わりました。
畠山義成は、教育制度について学んでいましたが、そ
の後アメリカを訪れた 岩倉使節団に加わり、外国との
交渉を担当するという重責を担いました。 帰国後は日本
政府の一員として高等教育の充実に取り組み、東京開成
学校(現在の東京大学)の初代学長に就任しています。
互耶备落, 大人呆问看 よご、 月台隹斤でよろく つ産酒

の改正である。と、江戸幕府が結んだ不平等条約	海外の進んだ政治経済の実状把握いた。派遣の主な目的は、当時の	大久保利通らが副使に任命されて	岩倉具視が全権大使、木戸孝 允、政府が欧米に派遣した使節団で、	一八七一年(明治四年)に明治	【岩倉使節団】		外交官の育成にも取り組んだ。	また、「外国交法案内」を著し、	ンス公使等を務めた。	帰国後、明治政府の下で、フラ	とアメリカで学ぶ。	留学生の一員として、イギリス	鮫島尚信	【代表的薩摩藩留学生 】
------------------------	--------------------------------	-----------------	---------------------------------	----------------	---------	--	----------------	-----------------	------------	----------------	-----------	----------------	------	--------------

西郷隆盛・大久保利通など、明治維新では多くの薩摩

	た役害を見たした	な安創を見こうい。	直、雀鹀、雀・富国魚毛汝袞こ大きしょくさんこうぎょうで、近らすれた自宅するに、町沿町代の	ご 送られ に留営 上は、月台寺 じり軍事・科学・教育 たとを学ぶ目的	宣事の社会の女育なご正会が自りが這した	底書 > Tist ニー ロッパ やアメリカにも 留学生を	南国家にこの英国留守石に終き	産摩審はこの英国留学生に売き、
				老さ随脣落の留学生達たったのです	treize 香る P P P E E E C C C C C C	府の中心となり、新しい時代をつくり上けていったのも、	サフュ ひここ)、「ケノ 寺 ここ)、) ニド・ハフ こつ ふく	藩出身者が活躍しました。彼らの努力で生まれた明治政
何を感じるだろうか。 118でいった留学生達から、あなたは留学後、それぞれの人生を歩ん【考えてみよう】	等条約の改正に取り組んだ。	井上 馨 外務卿らとともに、不平	カ公使を務め、寺島宗則外務卿、	帰国後、明治政府の下でアメリ	とアメリカで学ぶ。	留学生の一員として、イギリス	吉田清成	【代表的薩摩藩留学生 】